第3部 計画の推進

1. 計画の周知・広報

地域福祉は、行政や福祉関係機関、社会福祉協議会だけが行うものではなく、住 民の参画を得ながら推進していくものであり、一人でも多くの住民に理解、協力を求め ていく必要があります。

計画に掲げた取り組みを実践・継続していけるよう、福祉サービス提供機関、ボランティア団体、企業、住民などと連携・協力に努めます。

社会福祉協議会の社協広報誌(はぴねす)やホームページで計画内容を公表するとともに、福祉関係イベントなど様々な機会を通じて、地域福祉計画と連動させながら計画内容の広報・啓発に努めます。

具体的事業	内 容	検討事項
		〇奇数月発行(年 6 回)のため、
社協広報誌(はぴね		掲載記事を詰め込み過ぎる傾
す)の活用	〇住民に計画された事業(地域	向から、見やすい紙面づくりが
	福祉・ボランティア活動等)の	課題となっています。
	情報を提供し、住民にこれか	○タイムリーな情報発信となるよ
ホームページの充実	らの活動への理解を高め、活	う、部門ごとに情報が掲載され
	動の参加・協力をより一層促	ることが課題となっています。
	進するよう提供します。	〇より良い情報発信ができるよ
イベント等の活用		う、その方法などを検討するこ
		とが課題となっています。

2. 住民・行政・社会福祉協議会等の役割と連携・協働による推進

地域福祉計画・地域福祉活動計画は、互いに連携し様々な地域の福祉課題に対処するために、行政だけでなく住民や様々な地域活動団体・関係機関が協働でつくる「福祉のまちづくり」を進めていくための計画です。

本計画の推進主体は、住民、福祉サービス提供機関、ボランティア団体、企業、行政、社会福祉協議会など、楢葉町内で暮らす全ての方々であり、社会福祉協議会は、これらの推進主体の連携を強化し、地域で展開される福祉活動が円滑に行われるよう支援を強化します。

《住民の役割》

家庭生活や日常生活において、あらゆる場面での"気づき"を大切にしつつ、まず自分にできることを具体的な行動に起こすとともに、地域の行事や各種講座への参加など、活動の第一歩を踏み出すことが期待されます。なお、ここで言う「住民」には、地域の企業・事業所も含まれます。

《ボランティア団体等の住民組織の役割》

ボランティア団体等の住民組織は、独自の専門性を持ち、特に高齢者や障がい者支援、子育て支援などの分野においては、関心のある住民を受け入れ、活動の必要性を啓発するなど、住民の意識を高めながら先導していく役割が期待されます。また、団体の組織力を活かしたネットワーク化や政策提言などの機能も期待されます。

《福祉サービス提供機関の役割》

福祉サービス提供機関が地域社会の一員として、地域の行事に参加するとともに、施設を開放するなど地域と積極的に関わるとともに、福祉サービス提供機関が有する様々なノウハウ、人材などを活かして情報提供、相談活動等を行うなど、その専門性を地域に還元することが期待されます。

《行政の役割》

行政は、地域で解決できない問題に対し、制度に基づく支援やサービスの提供により支援を行います。支援をする際は、関係する部署・機関が連携して対応にあたれるよう横の連携に努めます。さらに、互助と公助の連携による支援や、「地域共生社会」の実現に向けた総合的な環境整備を進めていく役割を担います。

《社会福祉協議会の役割》

地域福祉の推進を担う団体として、身近な地域での住民に対する総合的な支援、 地域コミュニティの形成を推進する役割が期待されます。特に、地域住民の生活ニーズをとらえ、様々な社会資源をコーディネートしながら、"地域の福祉力"を支える機能

が期待されます。

この活動計画の推進については、工程表に基づいて進行管理に努め、毎年、策定委員会が施策の分析、評価を行い、必要に応じて施策の見直し等を行います。

【地域福祉活動の連携・協働】

【 住民(楢葉町町民) 】

- 〇 隣近所との絆を深める。
- 〇 地域社会の一員であることを 自覚し、地域福祉に対する意 識を高める。
- 地域福祉活動の担い手として 積極的に社会活動に参加す る。

【 サービス提供事業者 】

利用者の自立支援を基本とし、サービスの質の確保、利用者保護、事業内容の情報提供、事業所間の連携の強化に努める。

地域福祉活動の推進 連携・協働の推進

【 社会福祉協議会 】

- 〇 地域福祉活動の中心的な担い手として、積極的に地域に出向き、地域コーディネート役として努める。
- 地域福祉活動への住民参加 の機会を拡充する。

【 行政(楢葉町等) 】

- 住民や関係機関・団体、社会 福祉協議会等と連携し、地域 に根ざした施策の展開を図る。
- 多様化するニーズに的確に対応し、きめ細やかなサービスを 総合的に提供する。

【協働】

○ 共通の目的を達成するために、NPO、ボランティア・住民団体などと公的機関(行政・社会福祉協議会等)がお互いの特性を認識・尊重し合い、対等な立場で、共通する領域の課題の解決に向けて協力・協調する関係をいいます。

第2章 計画の進行管理 ■■■■■■■■■■■■■■■■

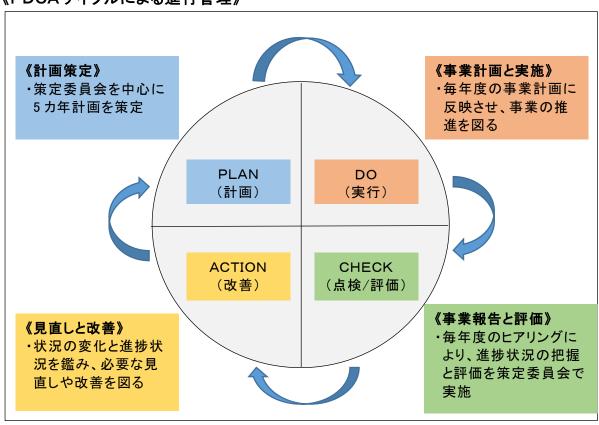
1. 計画の評価

本計画は、社会福祉協議会をはじめとする民間団体の「行動計画」としての機能を有していることから、町内地域福祉関係団体との横断的な推進体制をとる必要があります。そのため、社会福祉協議会は、毎年ヒアリング等を通して施策の分析・検証を行い、策定委員会へ報告します。策定委員会(設置要綱における委員の任期の変更等)は、施策の評価を行い、必要に応じて施策の見直し等を行います。

また、関連する制度改正や各種調査活動を通して福祉サービス利用者の福祉課題の把握を行い、成果と課題を明らかにし、新たなニーズの変化に応じた計画の見直しも行います。

本計画の進行状況の管理・評価は、計画を立て(Plan)、実行(Do)、その進捗状況を定期的に把握し点検・評価した上で(Check)、その後の取り組みを改善する(Action)、一連のPDCAサイクルの構築に努めます。

《PDCAサイクルによる進行管理》



◎PDCAサイクルによる進行管理

「地域福祉活動計画」を着実に推進し、成果をあげるために、PDCAサイクルの考え方に基づき5年間の進行管理を行います。

◎取り組み状況の公表

計画の進捗状況や取り組みの内容等は、社会福祉協議会の社協広報誌(はぴねす)やホームページ等により広く住民に公表します。

◎楢葉町地域福祉計画(行政計画)との連携

楢葉町地域福祉計画(行政計画)との一体的な推進を図るため、楢葉町住民福祉 課等と計画の取り組み状況の共有や連携等を行います。